

武蔵野の森総合スポーツプラザの管理運営について (報告)

1 指定管理者の決定について

(1) 経緯

平成29年4月 6日	募集要項公表
5月29～31日	応募書類受付
6月21日	東京都体育施設指定管理者選定委員会第1次審査
7月14日	〃 第2次審査
8月 9日	指定管理者候補者の決定発表
10月 5日	指定管理者を指定 (平成29年第3回定例都議会議決)
11月25日	開業

(2) 指定管理者

東京スタジアムグループ

代表団体：株式会社 東京スタジアム

構成団体：株式会社 京王設備サービス

株式会社 シミズオクト

東京ビジネスサービス 株式会社

株式会社 東京ドームスポーツ

(3) 指定管理期間

平成29 (2017) 年11月1日～令和5 (2023) 年3月31日

2 地域貢献事業について

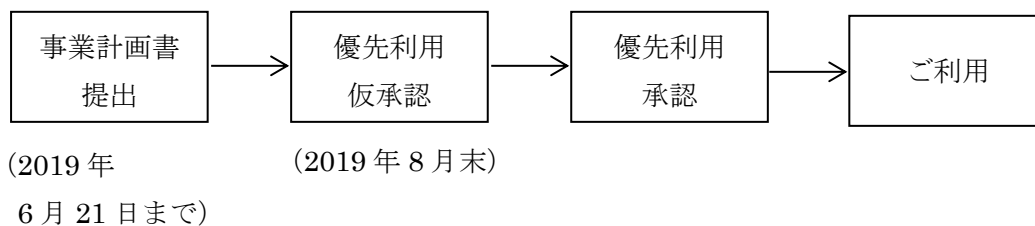
(1) 地域貢献事業

- 地域貢献事業とは、地域の賑わい・活性化に貢献することを目的とした事業
- 東京都の体育施設として初めて、「地域貢献事業」を指定管理者の業務とした。

(2) 地域貢献事業の優先受付

- 令和元年度分(2019年4月～2020年3月分)の優先受付の状況は(3)のとおり。
(手続きについては、別添「武蔵野の森総合スポーツプラザ業務内容及び管理運営の基準」を参照)

○ 優先受付の流れ（2019年度の予定）【2020年4月～2021年3月分】



(3) 令和元年度（2019年4月～2020年3月）地域貢献事業の実施予定について

○三鷹市
申込なし

○府中市
申込なし

○調布市
5件実施予定

名称	利用施設	日程
ニュースポーツ交流会	サブアリーナ	12/7（土）
パラスポーツ体験会	サブアリーナ	12/8（日）
調布市小学生ドッジビー大会	メインアリーナ	2/11（火・祝）
調布・狛江スポーツ推進委員交流会	サブアリーナ	3/7（土）
パラフットサルイベント（調整中）	サブアリーナ	10/27（日）

3 現在までの施設利用状況

(1) メインアリーナ、サブアリーナの稼働率

	平成29年度	平成30年度
メインアリーナ	50.6%	77.2%
サブアリーナ	50.0%	81.5%

※1 平成29年度は11月25日から平成30年3月31日までの実績

※2 稼働率は、団体利用の稼働率（稼働率＝利用単位数÷利用可能単位数）

4 ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会の開催等に伴う影響

(1) ラグビーワールドカップ2019

- 大会におけるホスピタリティ・スペース等として使用する。
 - 大会の開催及びその準備のため、利用ができなくなる予定
 - ・利用できない期間：令和元年9月5日（木）～同年11月7日（木）
 - ・対象施設：メインアリーナ、サブアリーナ(※)、プール(※)、会議室、トレーニングルーム(※)、多目的スペース
- ※の施設については、上記期間のうち一部の日程については利用可

(2) 東京2020大会

- バドミントン、近代五種（フェンシング）、車いすバスケットボールの競技会場
- 大会の開催及びその準備のため、利用できない期間が見込まれる。
 - ・利用できない期間（見込）：令和2年4月中旬～同年12月上旬
 - ・対象施設：メインアリーナ、サブアリーナ、プール、会議室、トレーニングルーム、多目的スペース

5 味の素スタジアムの施設改修工事の状況

(1) 施工期間

- 第1期：平成30年7月～令和元年6月
- 第2期：令和元年11月～令和2年5月（予定）

(2) 工事内容

- アクセシビリティ・ガイドラインへの対応
 - ・車いす対応トイレの増設（第1期にて完了）
 - ・和式トイレの洋式化（第1期～第2期）
 - ・昇降機の増設（第1期～第2期）
 - ・車いす席の増設（第2期） 等
- 施設老朽化への対応：第1期にて完了
 - ・競技用照明のLED化
 - ・特別観覧席の更新 等
- 施設の機能向上：第1期にて完了
 - ・LEDリボンビジョンの設置 等